第25号

盛隆会だより

「わくわくする京都」を目指して

京都府知事　西脇隆俊

あけましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素より温かく、力強い御支援を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

また、昨年11月26日には第４回総会を開催いただきました。大変多くの会員の皆さまにお集まりいただき、厚くお礼申し上げます。皆さまとお話する機会もいただき、貴重な時間を過ごすことができました。改めまして、開催に御尽力いただいた役員の皆さま、そしてお集まりいただいた会員の皆さまに心から感謝申し上げます。さらに、あたたかいお言葉とともに出馬要請書をいただき、深く感謝を申し上げます。

熟慮を重ねる中で、平成30年に知事に就任して以来、８年間、府政の陣頭指揮を執ってきた日々に思いを致し、これまで進めてきた人と人との絆や府民・地域の皆さまとの信頼を大切にする府政こそが、京都の未来を切り拓く正道であるとの思いを改めて強くいたしました。

今、京都は人口減少や気候変動、ＡＩによる技術革新などにより、大きな転換点を迎えており、人口増加を前提とした社会システムを描き直す必要に迫られています。

また、世界中の人々を惹き付ける京都の魅力も、これまでにない状況に置かれています。京都には、神社仏閣、お茶や華道といった生活文化、伝統芸能、食文化、先端産業などの多彩な魅力の源泉があります。「ほんまもん」を追求する府民の皆さまによって、これらの魅力の源泉が磨き上げられることで京都は発展してきました。しかしながら、人口減少により、このような磨き上げの営みが難しくなっているのではないかと考えております。府民お一人おひとりが、安定した暮らしの上に、夢に向かって挑戦する営みが、魅力の源泉の磨き上げにつながり、ひいては京都全体の発展につながります。

そうしたことを踏まえ、府民の皆さまの暮らしの「安心」を守り抜き、また、誰もが活躍できる社会の実現に向けて人を「はぐくみ」、京都の魅力を磨き上げてより一層「輝かせる」、「わくわくする京都」づくりを府民の皆様とともに進めることを決意いたしました。

今年の干支は「丙午」です。丙午の年は、情熱や活力に満ちた「前進」の一年になると言われており、様々な課題を乗り越えながら、力強く前進してまいりたいと考えております。今年一年の皆さまの御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

令和８年1月24日（通巻第25号）

ご挨拶

盛隆会 会長　田中誠二

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、平素より盛隆会の活動に対しまして、深いご理解と多大なご協力を賜っておりますことに心より厚くお礼申しあげます。

さて、昨年11月の第４回盛隆会総会では２００名の会員様にご出席をいただき、「『あたたかい京都づくり』をより実感いただくために」と題して西脇知事のご講演を拝聴し、その後各テーブルで参加会員との懇親を深めていただき、無事総会を終了することができました。

また、総会開始前に盛隆会として、西脇知事に本年４月に行われる京都府知事選への出馬要請をさせていただいたところ、去る１月10日に出馬を表明されたところです。盛隆会としても「あたたかい京都づくり」に取り組まれる西脇知事を全力で支援する所存です。

結びに会員の皆様には益々のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

事務局からのお願い

盛隆会会員の拡大についてご協力をお願い

盛隆会の拡大・発展を図るとともに、府民生活の安心安全と府民経済の発展に向けた、西脇隆俊知事の尚一層の活動を支援するため、さらなる新会員のご入会の取り組みを進めております。**ご紹介、ご勧誘の程、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。（別添「会員拡大のお願い」をご活用願います。）**

令和８年の会費納入について

盛隆会の会計年度は、**暦年制（1月から12月まで）**としております。

会費は**1口3,000円以上**で、**個人名義**でお願いしております。

（1口以上、何口でも歓迎します。）

令和8年分会費は、郵便振込票（赤伝票）を同封しておりますので、よろしくお願いします。

既にご納入いただきました皆様には御礼申し上げます。

なお、赤伝票による郵便振込口座の他に京都銀行にも口座を設けておりますので、ご活用いただければ幸いです。

銀行口座：京都銀行　府庁前支店　普通　4182688

口座名義：セイリュウカイ　カイケイセキニンシャ　タカイシ　ヨシフミ

事務局の勤務体制について

事務局には、火曜日木曜日の午後（13:00～17:00）に職員が駐在しておりますので、ご連絡・お問合せ等ございましたら、この時間帯にお願いいたします。

また、お近くにお越しの際は、是非ともお立ち寄りください。

〒602-8026　京都市上京区新町通丸太町上ル春帯町349-2　仙石ビル305号
電話（075）254－8553　FAX（075）254－8554
mail：seiryukai@wind.ocn.ne.jp

発行所　盛隆会事務局　　発行責任者　髙石佳文

西脇隆俊公式

令和7年度12月補正予算　予算規模：441億5,700万円

12月補正予算では、国の『「強い経済」を実現する総合経済対策』を最大限に活用し、物価高騰等の長期化により、大変厳しい状況にある府民生活や事業活動を守るための緊急対策や、人・物・情報・日々の生活の基盤づくりなどに必要な予算を計上しました。

府民や事業者の皆さまに支援が少しでも早く行きわたるよう、事業の早期執行をすすめてまいります。

事業の詳細など、詳しくは京都府のHPをご覧ください。

第４回盛隆会総会を開催

盛隆会は令和7年11月26日（水）ホテルグランビア京都において、第４回総会を開催しました。当日は、200名の参加をいただき田中盛隆会会長のあいさつの後、西脇知事から「『あたたかい京都づくり』をより実感いただくために」と題して最近の府政状況を中心に“未来への施策展開”をに向けた取り組みについて、熱のこもったご講演をいただきました。

その後、沖田盛隆会副会長乾杯発声により懇親パーティが始まり、西脇知事には各テーブルを回っていただき歓談や記念撮影を行うなど充実した内容となりました。安藤盛隆会副会長の中締めの後、西脇知事、田中会長のお見送りにより盛会に終えることができました。

田中会長開会挨拶

知事講演1

知事講演2

沖田副会長乾杯発声

会場風景

安藤副会長閉会挨拶

◆西脇知事に出馬要請◆

総会開催前に田中会長をはじめ役員・顧問が来たる令和8年4月に行われる京都府知事選挙への出馬要請を行いました。

令和８年1月24日（通巻第25号）

西脇府政２期目
「あたたかい京都づくり」の主な成果

全ての営みの土台となる「安心」

- **新型コロナウイルス対応時には迅速に補正予算を編成し、早期執行**
  （府民のいのちを守るために必要な病床の確保やゼロゼロ融資など）
- **京都子育て支援医療制度を令和5年9月から充実**
  （3歳～小学校卒業の通院自己負担上限月額を1,500円から200円に引き下げ）
- **あらゆる危機事象に迅速・的確に対応するための常設の危機管理センターを整備**
  （令和6年7月から全面運用開始）

子どもたちを育み、絆を守る「温もり」

- **子育て環境日本一の実現に向け、令和5年12月に「京都府子育て環境日本一推進戦略」を改定し、戦略に基づく施策を推進（主なもの）**
  - ・京都版ミニ・ミュンヘンを各地で開催し「子育ては楽しい」という機運を醸成
  - ・全国初の「親子誰でも通園制度」を実施し「子育ち」と「親育ち」を一体支援
  - ・「ドナルド・マクドナルド・ハウス京都」の来秋開設に向け募金活動を支援
- **「子どもの教育のための総合交付金」制度を創設**
  （語学力向上や不登校児童生徒への対応等、市町村が実施する特色ある取組みを支援）

希望や活力の源泉となる「ゆめ実現」

- **府内各地で産業創造リーディングゾーンを形成（主なもの）**
  - ・アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都（ATVK）の開設（令和5年10月）
  - ・脱炭素関連スタートアップ拠点「ZET-BASE KYOTO」の開設（令和7年4月）
  - ・西陣織、京友禅、丹後織物の3産地連携によるマーケット開拓等の推進
- **日本最大級のスタートアップカンファレンス「IVS」を3年連続で京都で開催**
- **文化庁の全面的な京都移転（令和5年3月）を契機とした京都からの文化発信（主なもの）**
  - ・国内最大規模の国際音楽賞「MUSIC AWARDS JAPAN」の開催（令和7年5月）
  - ・京都市と連携した「京都アート月間」の設定による京都アート市場の発信力強化

基盤整備・その他

- **府民の安心・安全や地域の発展の基盤となるインフラ整備が大きく前進**
  - ・JR奈良線第二期複線化が完了（令和5年3月）し所要時間短縮や列車増発等が実現
  - ・鷲峰山トンネル（令和7年2月）や白鳥トンネル（令和7年5月）等が開通
- **「府市トップミーティング」を立ち上げ、より高いレベルの京都市との府市協調を実現**
  - ・府市周遊観光の促進や、府立高校と市立高校の探究学習における連携